

2012年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議案

日時：2012年6月22日（金）16時00分～17時30分

場所：仙台管区気象台第3会議室（3階会議室）

開会の挨拶

出席者紹介

議 題

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 日本気象学会東北支部第28期役員選挙の結果 | 2 ページ |
| 2. 新支部長及び新常任理事の互選 | 2 ページ |
| 3. 事業等の担当理事の選任 | 3 ページ |
| 4. 2011年度会計監査報告 | 4 ページ |
| 5. 2012年度事業計画及び予算 | 5 ページ |
| (1) 事業計画 | 5 ページ |
| 1) 支部気象講演会 | 5 ページ |
| 2) 支部気象研究会 | 5 ページ |
| 3) 支部だよりの発行 | 5 ページ |
| 4) 支部理事会 | 5 ページ |
| 5) 支部独自活動 | 5 ページ |
| 6) 日本気象学会奨励賞などへの推薦 | 6 ページ |
| 7) 日本気象学会 2013年秋季大会について | 6 ページ |
| (2) 2012年度予算 | 7 ページ |
| 6. その他 | 9 ページ |
| (1) 全国理事会報告 | 9 ページ |
| (2) 支部幹事の指名 | 9 ページ |
| 7. 事務局から | 9 ページ |

資 料

- | | |
|----------------------|--------|
| 2012年度支部独自活動計画(提出資料) | 10 ページ |
| 役員名簿案（第28期2012年度） | 11 ページ |
| 東北支部規則 | 12 ページ |
| 東北支部細則 | 13 ページ |

1. 日本気象学会東北支部第28期役員選挙の結果

第28期東北支部役員選挙は、山崎幹事を選挙管理人とし3月28日告示、4月20日～5月16日投票、5月23日開票事務を実施。次のとおり役員が決定した(あいうえお順)。

在仙理事

青木 周司 氏	東北大学大学院理学研究科教授
足立 勇士 氏	仙台管区気象台技術部予報課主任予報官
岩崎 俊樹 氏	東北大学大学院理学研究科教授
川津 拓幸 氏	仙台管区気象台長
境田 清隆 氏	東北大学大学院環境科学研究科教授
杉山 公利 氏	日本気象予報士会東北支部長
丹治 和博 氏	日本気象協会東北支局長
長谷川 洋平 氏	仙台管区気象台技術部長

地方理事

川原田 義春 氏	山形地方気象台長
児玉 安正 氏	弘前大学大学院理工学研究科准教授
高尾 俊則 氏	青森地方気象台長

会計監査

阿部 仁	仙台管区気象台技術部次長
------	--------------

2. 新支部長及び新常任理事の互選

「支部規則」第10条に基づき、新支部長、新常任理事を選出する。
事務局(案)は次のとおりです。

*事務局(案)

支部長	川津 拓幸 氏	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司 氏	東北大学大学院理学研究科教授
	足立 勇士 氏	仙台管区気象台技術部予報課主任予報官
	岩崎 俊樹 氏	東北大学大学院理学研究科教授
	境田 清隆 氏	東北大学大学院環境科学研究科教授
	杉山 公利 氏	日本気象予報士会東北支部長
	丹治 和博 氏	日本気象協会東北支局長
	長谷川 洋平 氏	仙台管区気象台技術部長

3. 事業等の担当理事の選任

事務局(案)は次のとおりです。

*事務局(案)

- | | |
|--|-----------------------------|
| ①支部気象講演会
(2012年度山形開催)
(2013年度青森開催) | 境田常任理事
川原田地方理事
高尾地方理事 |
| ②支部気象研究会 | 足立常任理事 |
| ③東北支部だより | 児玉地方理事 |
| ④支部独自活動 | 青木常任理事 |
| ⑤支部事務局 | 足立常任理事 |
| ⑥会計監査 | 阿部会計監査 |

4. 2011年度会計監査報告

収支計算書 (2011年4月1日～2012年3月31日)


東北支部

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	592,400 円	592,400 円	0 円
本部補助金	0 円	0 円	0 円
支部強化基金 (サイエンスF1)	30,000 円	30,000 円	0 円
事業収入 (広告料等)	0 円	0 円	0 円
雑収入			
預金利息	50 円	66 円	16 円
事業活動収入計 (1)	622,450 円	622,466 円	16 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部だより	220,000 円	132,165 円	87,835 円
支部気象講演会	290,000 円	247,395 円	42,605 円
支部気象研究会	35,000 円	38,540 円	△3,540 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円
気象サイエンスF1東北	30,000 円	87,298 円	△57,298 円
管理費支出			
支部理事会	95,000 円	69,510 円	25,490 円
支部役員選挙	20,000 円	19,000 円	1,000 円
事務費	10,000 円	8,946 円	1,054 円
事業活動支出計 (2)	715,000 円	617,854 円	97,146 円
III 予備費支出			
予備費支出	44,103 円	0 円	44,103 円
予備費支出計 (3)	44,103 円	0 円	44,103 円
当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)	△136,653 円	4,612 円	141,265 円
前期繰越収支差額(B)	136,653 円	136,653 円	0 円
次期繰越収支差額(A)+(B)	0 円	141,265 円	141,265 円

※マイナスの金額には、△印を付した。

2012年5月31日

日本気象学会東北支部会計監査

阿部 仁 

5. 2012年度事業計画及び予算

(1) 事業計画

1) 東北支部気象講演会

2004年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者		
2006年度	山形市	中澤高清	佐藤 威	
2007年度	青森市	板谷宏之	児玉安正	
2008年度	福島市	渡邊 明	大久保忠之	
2009年度	大崎市	境田清隆	大場淳司	
2010年度	秋田市	佐藤 威	栗田邦明	
2011年度	盛岡市	岩崎 俊樹	神田 英司	

2012年度は山形県で開催予定です。

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

2013年度は青森県で開催。今後(2012年秋以降)準備を進めていくこととします。
(担当理事は境田理事及び、高尾地方理事)

2) 東北支部気象研究会

仙台管区気象台の調査研究会に合わせて共催で開催予定。

開催日については、仙台管区気象台気候・調査課と検討

仙台管区気象台の東北支部研究発表会の日程予定

12/11 (火) 午後 (於2階大会議室)

3) 東北支部だより

年3回発行。発行スケジュールは次のとおり。

第73号(2012年7月発行済)、第74号(2012年10月頃)、第75号(2013年2月頃)

なお、第72号は2012年3月に発行され、支部会員への発送は2012年4月となった。

4) 支部理事会

第1回 2012年 6月22日

第2回 2012年 3月予定

5) 支部独自活動

気象サイエンスカフェ東北を秋頃に仙台市で開催する。今後、準備を進めていく
ワーキンググループ (WG) の立ち上げについて

6) 日本気象学会奨励賞などへの推薦

理事会と事務局で検討し、選考していく

7) 日本気象学会 2013年秋季大会について

会場：仙台国際センター

期間：2013年11月19日（火）～21日（木）を予定

予算見積もりを本部に伝える

実行委員会の立ち上げについて

(2) 2012 年度予算

	2011 年度 予算額	2011 年度 決算額	2012 年度 予算額	予算額増減 [2012 年-2011 年]
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	592,400 円	592,400 円	*1582,800 円	△9,600 円
支部強化基金(サイエンスフェ)	30,000 円	30,000 円	77,000 円	47,000 円
事業収入(広告料等)	0 円	0 円	0 円	0 円
雑収入				
預金利息	50 円	66 円	50 円	0 円
事業活動収入計(1)	622,450 円	622,466 円	659,850 円	37,400 円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
支部だより	220,000 円	132,165 円	*2290,000 円	70,000 円
支部気象講演会	290,000 円	247,395 円	250,000 円	△40,000 円
支部気象研究会	35,000 円	38,540 円	35,000 円	0 円
2013 年度秋季大会	0 円	6,710 円	10,000 円	10,000 円
気象サイエンスフェ東北	30,000 円	87,298 円	77,000 円	47,000 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	15,000 円	0 円
管理費支出				
支部理事会	95,000 円	69,510 円	108,000 円	13,000 円
支部役員選挙	20,000 円	19,000 円	5,000 円	△15,000 円
事務費	10,000 円	2,236 円	5,000 円	△5,000 円
事業活動支出計(2)	715,000 円	617,854 円	795,000 円	80,000 円
III 予備費支出				
備品費支出	44,103 円	0 円	6,115 円	△37,988 円
予備費支出計(3)	44,103 円	0 円	6,115 円	△37,988 円
当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)	△136,653 円	4,612 円	△141,265 円	△4,612 円
前期繰越収支差額(B)	136,653 円	136,653 円	141,265 円	4,612 円
次期繰越収支差額(A)+(B)	0 円	141,265 円	0 円	0 円

※マイナスの金額には、△印を付した。

2011 年度決算は確定版として 2011/4/1～2012/3/31 で再計算。第 2 回支部理事会費用と支部役員選挙費用が加算されています。

*1 本部交付金は、4月25日に入金済(=支部会員194名×1,200円+35万円)

*2 支部だより第72号印刷発送費は年度を越えて決済されたため、2012年度予算に組み入れてあります。

変動分は予備費支出で調整したいと思います。

〔支部独自活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	2011年度 予算額	2011年度 決算額	2012年度 予算額	予算額増減 [2012年-2011年]
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	30,000円	30,000円	*177,000円	47,000円
事業収入（広告料等）	0円	0円	0円	0円
雑収入	0円	0円	0円	0円
事業活動収入計(1)	30,000円	30,000円	77,000円	47,000円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
資料印刷費	8,000円	42,000円	22,000円	14,000円
講師謝金	15,000円	0円	15,000円	0円
事務費	7,000円	8,298円	20,000円	13,000円
役務費・交通費	0円	37,000円	20,000円	20,000円
管理費支出	0円	0円	0円	0円
事業活動支出計(2)	30,000円	87,298円	77,000円	47,000円
III 予備費支出	0円	0円	0円	0円
予備費支出計(3)	0円	0円	0円	0円
当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)	0円	*2△57,298円	0円	0円

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1本部交付金は、6月8日に入金済

*2不足額は、支部一般会計から補填

6. その他

(1) 全国理事会報告

(2) 支部幹事の指名（支部規則第13条による）

山崎氏、折笠氏、金濱氏の3名を指名する

事務局から

1) 東北支部から選出された全国理事について

岩崎常任理事と長谷川洋平氏が当選した。

2) 「天気」東北地区編集委員について

山崎 剛氏(東北大学)と足立勇士常任理事が、地区編集委員になっている

3) 東北支部会員数（個人会員）

2012年4月現在

県名	会員数	2012. 1	2011. 4
青森県	25名	28名	27名
岩手県	21名	20名	20名
秋田県	13名	15名	13名
山形県	16名	17名	20名
宮城県	93名	86名	94名
福島県	26名	26名	29名
合 計	194名	192名	203名

(2011年1月の時点では192名なので2名増)

4) 旅費等について

交通費については

青森は 21,800円 [10900円×2]

弘前は 21,900円 [10910円×2]

山形は 2,700円 [1110円×2+230円×2]

仙台、岩沼は 1,000円をお願いします

※端数は切り上げています。

5) その他

学都「仙台・宮城」サイエンスデイ2012

2012年7月15日（日）開催

[別紙]

東北 支部(1/1)

2012 年度支部独自活動計画

1 事業名

気象サイエンスカフェ東北 開催

2 概要

(1) 事業の意義、必要性、事業内容の概略

一般の方が興味をもつような気象のトピックスを取り上げ、専門家にわかりやすく解説していただき、また、十分な時間を確保して、議論することで理解を深めていただく。

気象知識の一般への普及の面では効果的と思われる。

(2) 実施の時期及び場所（未定でも可）

2012年（開催月は未定）

仙台市

(3) 事業の対象者

一般市民、会員、気象予報士、気象台職員など

3 経費の概算

合計	77,000円
内訳	
資料印刷費	22,000円
講師謝金	15,000円
役務費	20,000円
事務費	20,000円

4 連絡先及び担当者

宮城県仙台市宮城野区五輪 1-3-15 仙台管区気象台内
金濱 晋 (Tel : 022-297-8136)

東北支部長 藤村 弘志



日本気象学会東北支部第 28 期 2012 年度役員名簿（案）

平成 24 年 6 月 22 日現在

支部長	川津 拓幸	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	足立 勇士	仙台管区気象台技術部予報課主任予報官
	岩崎 俊樹	東北大学大学院教授（理学研究科）
	境田 清隆	東北大学大学院教授（環境科学研究科）
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	丹治 和博	日本気象協会東北支局長
	長谷川 洋平	仙台管区気象台技術部長
地方理事	川原田 義春	山形地方気象台長
	児玉 安正	弘前大学大学院准教授（理工学研究科）
	高尾 俊則	青森地方気象台長
会計監査	阿部 仁	仙台管区気象台技術部次長
幹事	山崎 剛	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	折笠 成宏	仙台管区気象台技術部気候・調査課調査官
	金濱 晋	仙台管区気象台技術部予報課調査係長

以上

日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正

- 第 1 条 本支部は社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内（技術部気候・調査課）に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（2～3 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
（1）事業計画および収支決算
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

昭和33. 7. 5	成立
昭和40. 11. 18	1項を改正
昭和41. 3. 15	7項を改正
昭和60. 3. 19	12、13、14の各項を改正
平成6. 2. 28	1、8、9、12、13の各項を改正
平成22. 6. 11	1項を改正

役員選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より8～11名選出する。このうち在仙理事5～8名地方理事3名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より1名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の20日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の30日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第2項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の10分の1に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのものと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第9項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第9項または第12項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

以上